

「自らの健康に目を向け、よりよい生活習慣の確立をめざす児童の育成」

～歯・口の健康づくりを通して～

佐賀県鹿島市立能古見小学校

当校は、佐賀県の南部に位置する児童数183人の小規模校である。児童・保護者共に、健康に関する意識が薄く、望ましい生活習慣が十分に身につけているとは言いにくい。そこで、「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり」への取り組みを核として、生涯にわたり、健康を意識する児童の育成を実践していく。また、家庭や地域と協力して、ヘルスプロモーションを基にした健康づくりの具現化を図ることとした。



本校児童が作成したオリジナルキャラクター「えいせい君」

1 研究のねらい

- 児童に、自分の歯・口の健康に関心をもたせ、自律的な取り組みにより自らの課題を解決させる。
- 歯・口の健康づくりに取り組み、身につけた力をもとによりよい生活習慣の確立をめざす児童の育成をめざす。

2 主な取り組み

(1)【授業研究部】

◆養護教諭とのTT授業

養護教諭とTTを組み、専門的な立場から歯の特徴やみがき方の指導を受け、歯の健康への関心を高めた。



◆栄養教諭とのTT授業

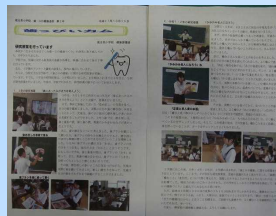
栄養教諭とTTを組み、地区「食育教育研究会」と共催で授業研究会を実施し、口からの健康づくりについて研究を深めた。



(2)【健康習慣部】

◆歯・口の健康通信発行

家庭への啓発として、歯・口の健康通信「歯っぴいかむ」を定期的に発行している。



◆掲示板の設置

校舎内の廊下に掲示コーナーを設置し、児童へのアンケート結果の集計や歯に関する資料などを掲示している。



◆児童の読み語り

図書館祭りの一環として、図書委員会が「むしばミュータンスのぼうけん」「歯がぬけた」「むしばくんだいすき？」など全部で5冊の読み語りをしてくれた。低学年を中心に、集まった児童に大好評であった。



◆歯みがきタイムの設定

給食後、自作のDVD資料を見ながら、各学級一斉に歯みがきを実施している。



◆マスコット・ポスター・スローガン

代表委員会で歯や口に関するスローガンを募集し、児童の投票を経て、本校オリジナルの歯のマスコット「えいせい君」を設定し、啓発した。



(3)【PTAとの協力】

◆PTA教育講演会

日曜参観日にPTAとの共同企画で、親子教育講演会を実施した。演題は「お口からの健康づくり～噛むことは生きること～」、講師の宮原歯科医院院長宮原昭氏は、保護者と児童と一緒に取り組むべき活動を紹介した。

